

# たつのこ スタジアムの ナイター設備



所在地：茨城県龍ヶ崎市松ヶ丘  
 グラウンド：規模／両翼100m、中堅123m  
 観客収容数：ベンチシート約1400席、芝生観覧席約2600人収容  
 設計：三井共同建設コンサルタント(株)  
 施工：協進・河村特定建設工事特定企業体  
 完成：平成22年2月

S8

住民の心身両面の健康維持を目的にスポーツ振興に取り組む茨城県龍ヶ崎市に待望の野球場「たつのこスタジアム」がオープン。ナイター設備は6基の照明柱に高演色・高効率なメタルハライドランプ投光器(キャドミラーA)が採用され、プレイしやすい快適な競技環境を確保しながら周辺住宅への光害対策を図っています。

芝生観覧席などグラウンドとの一体感を高めた「たつのこスタジアム」が完成

平成22年5月1日、スポーツ振興に力を注ぐ茨城県龍ヶ崎市に、ナイター照明設備を持つ市民待望の野球場「たつのこスタジアム」がオープンしました。両翼100m、センター123mのグラウンドは県内屈指の規模を誇っています。同スタジアムは総合体育館や陸上競技場とともに龍ヶ崎市総合運動公園の中核となる施設です。観客収容数はバックネット裏のスタンド席約1,400人、芝生観覧席約2,600人で、グラウンドとの一体感を強める球場設計が取り入れられています。

HID投光器を採用し、光害対策を図りつつ、快適なナイターゲームを確保

ナイター照明は、投げるボールの球筋や打ったボールの方向がよく見えるようにするため、29.1m高さの照明柱を6カ所に配置、光源ができるだけプレイヤーの視線に入らない配置計画とし、プレイ中、あらゆる方向に向くプレイヤーの視線へのグレア防止とともに、空間の照度分布を良好にしてフライボールを取りやすくしています。

各照明柱の照明架台には高演色・高効率の1kWメタルハライドランプルーバー内蔵投光器(キャドミラーA)を30台ずつ(5段×6列)採用。上方光束約60%カットのルーバー内蔵により、眩しさを抑制し、プレイしやすい競技環境を確保していると同時に、周辺住宅への光害対策が図られています。

水平面平均照度は、公式競技レベル(全点灯)では内野750lx、外野400lx、一般競技レベル(2/3点灯)では内野500lx、外野300lx、レクリエーションレベル(1/3点灯)では内野300lx、外野150lxが確保されており、その点灯制御はスタジアムの放送室内に設けられている照明制御盤で行い、3パターンの点灯と点灯時間を選定できるようになっています。



ライト側客席からグラウンドを望むナイター設備。照明柱1基当たり5段×6列で高演色・高効率の1kWメタルハライドランプルーバー内蔵投光器(キャドミラーA)を設置



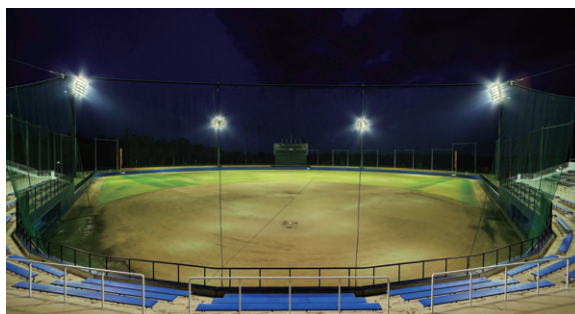
照明柱6基(高さ約29.1m)によるナイター設備をライト側客席からグラウンドを望む



30台の投光器とその後方に設置した電撃殺虫器



照明制御盤



バックネット裏スタンド席から外野方向を望む。明るく均斉度を高めつつ、光害対策にも配慮

M1kW投光器30台が搭載された照明柱

## 主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	ランプ
屋外	光害対策ルーバー内蔵投光器(キャドミラーA)	HT-15265LX	180	1kWメタルハライドランプ